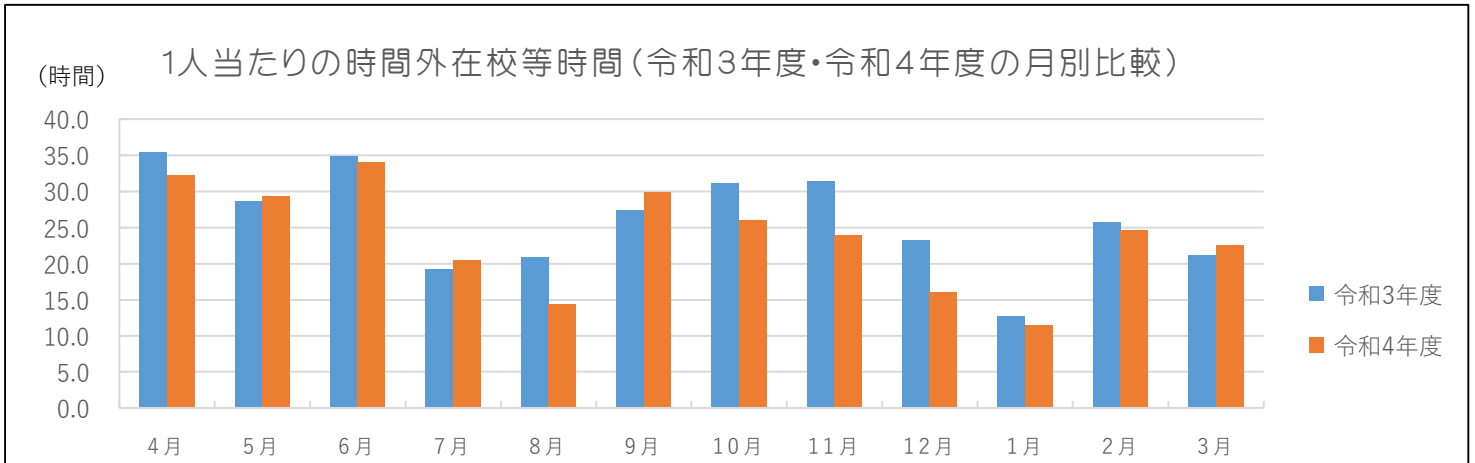


## 令和4年度(2022年度)

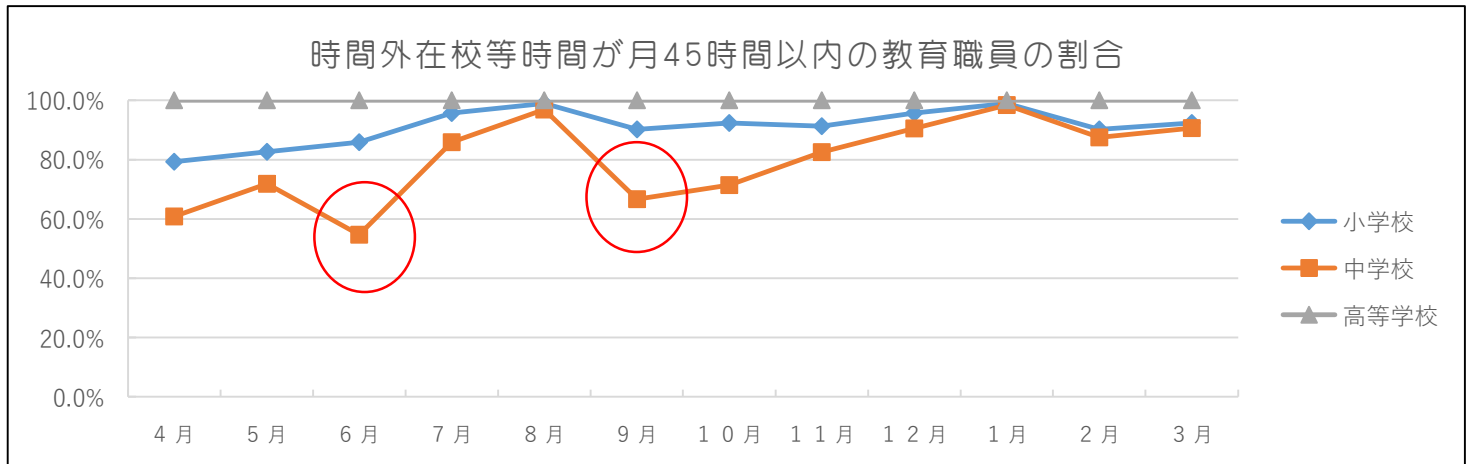
### 士別市立学校の教職員に係る時間外在校等時間(超過勤務時間)の状況について

- 期 間：令和4年(2022年)4月～令和5年(2023年)3月
- 対 象 校：士別市立の小学校6校、中学校4校、高等学校1校
- 対象職員：教育職員(校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭)

#### 1 月別の時間外在校等時間の推移について



#### 2 校種別の時間外在校等時間が月45時間以内の教育職員について



#### 3 調査結果を踏まえた課題と今後の取組について

- 教育職員の時間外在校等時間(1人当たりの平均値)については令和3年度に引き続き、各月とも45時間以内となっており、令和3年度の在校時間より減少している月が多い。(12か月中8か月が減少)
  - 各校種の働き方改革が進んでいると考えられるが、中学校では6月の中体連、9月の新人戦の時期に在校時間が増えている教職員が多くなっていると考えられる。
  - 年間の時間外在校等時間については、平均値では360時間以内を達成(令和3年度は312時間、令和4年度は285時間)し、減少傾向にあるが、全職員の達成に向けて各学校での工夫を必要としている。
- \*道教委では「学校における働き方改革 北海道アクション・プラン」において、教育職員の時間外在校等時間の目標を1か月で45時間、以内、1年間で360時間以内としている。